

Flexi-Disc: Sonorama

音の出る雑誌

「朝日ソノラマ」
月刊

12月10日に創刊号発行



朝日新聞社は、新しい時代の月刊誌「朝日ソノラマ」を生産します。これまでの雑誌はただ読むだけのものですが、このソノラマは音が出るのです。それは、あらゆる最大ニュースをソノラマの音によって伝え、片ロケットの飛ぶ音や宇宙船の音や潜水艦の音や格闘技の音や動物の音や、石版印刷の音や紙の音や鉛筆の音や、さらには、これには特別の音は入りません。普通のおトナリー（音楽）も入ります。

朝日新聞社は、フランスのソノト音の出るレコーダを製作し、これをソノラマに組み込んで、ソノラマの音を出せるようにしました。これによって新しい雑誌「朝日ソノラマ」を出せることになったのです。この雑誌は二時間に八千枚のソノシートを必要としますが、マンコミに必要な大量生産の力を十分に持っています。この生産力によって、世界中に安くて美しい雑誌を出すことが可能になりました。このソノシートは毎号六枚入り、二千回の使用に耐え、音のライブリーとしてながく音を出し続けることができます。

創刊号は十二月十日発売（毎月十日に発売）、定価は三百六十円ですが、朝日新聞社が特別価格で発行しています。朝日新聞社が特別価格で発行しています。

朝日新聞社

TITLE

Image 1 A Magazine That Makes Sound (Oto no deru zasshi 音の出る雑誌)

DATE

1959-11-25

CREATOR

Unknown

PUBLISHER

Asahi shimbun 朝日新聞

RIGHTS

Asahi shimbun. Public Domain.

DESCRIPTION

Ad for Asahi Sonorama's inaugural issue



ひととき

私に家になんか
百人のお嫁があり
は。

群田の「群田」
た。話が「群田」

「群田」の類のものが
彼に群田の色を
こぼり群田の
い。

群田の類のものが
彼に群田の色を
こぼり群田の
い。

「群田」の類のものが
彼に群田の色を
こぼり群田の
い。

「群田」の類のものが
彼に群田の色を
こぼり群田の
い。

「朝日」ノラマ「創刊と盲人」

字を
人三

「朝日」の類のものが
彼に群田の色を
こぼり群田の
い。

「朝日」の類のものが
彼に群田の色を
こぼり群田の
い。

「朝日」の類のものが
彼に群田の色を
こぼり群田の
い。

「朝日」の類のものが
彼に群田の色を
こぼり群田の
い。

（山形市東山町・鈴木光孝・監
修・主編）

TITLE

Image 2 Asahi Sonorama's First Issue and the Blind ('Asahi sonorama' sōkan to mōjin 「朝日ソノラマ」創刊と盲人)

DATE

1959-12-03

CREATOR

Unknown

PUBLISHER

Asahi shimbun 朝日新聞

RIGHTS

Asahi shimbun. Public Domain.

DESCRIPTION

Letter explaining the significance of Asahi Sonorama's for the blind.